

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古山 眞佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下山田 信一 (TEL) 022-236-5600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,767	3.8	322	△7.4	410	△2.8	276	△2.9
2026年3月期第1四半期	12,298	2.5	348	6.8	422	1.9	284	0.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 293百万円(△0.3%) 2026年3月期第1四半期 293百万円(14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	33.13	—
2026年3月期第1四半期	34.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	36,683	27,309	74.4
2026年3月期	36,911	27,207	73.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 27,309百万円 2026年3月期 27,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	25,800	3.9	670	△16.3	820	△12.9	540	△15.1
通期	52,500	3.3	1,520	△3.3	1,820	△3.5	1,220	△2.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	9,152,640株	2026年3月期	9,152,640株
2027年3月期1Q	812,426株	2026年3月期	812,426株
2027年3月期1Q	8,340,214株	2026年3月期1Q	8,340,214株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における我が国経済は、物価上昇の影響が継続するなか、賃上げなどによる所得環境の改善や政府の物価高対策等を背景に景気は緩やかに回復しておりますが、主要国の通商対策や中東情勢の緊張の高まりによる原油価格の変動、為替相場の変動などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、2030年を見据え「食をコアとしたマーケティング・ソリューションカンパニーを目指して～豊かな食文化の地方創生に貢献する企業へ～」をスローガンとした「第2次中期経営計画」の最終年度である今年度は、「信頼を得る営業で更なる深耕拡大」を経営方針に掲げ、「営業力の徹底強化」、「お客様の課題解決のためのトータルサポート」、「人への投資」の3つのテーマについて、全社を挙げて取り組んでおります。市場環境の厳しさがさらに増すなか、部門内や部門間での対話による情報の共有を進め、多角的な営業活動を行うことで、営業力の強化及びトータルサポート体制の構築を進めてまいります。人への投資の取り組みでは、3年連続での大幅な賃上げの実施に加え、年間休日数の増加も実施し、従業員のワークライフバランス向上に向けた環境整備を進め、従業員の満足度と生産性の向上に努めております。

以上により、売上高127億67百万円(前年同四半期比3.8%増)、売上総利益は27億37百万円と前年同四半期と比べ62百万円増加しました。販売管理費については、人への積極投資による昇給率の増加に加え、山形営業所新社屋建設による減価償却費19百万円、修繕費及び支払手数料等15百万円の増加があり前年同四半期と比べ88百万円の増加となりました。その結果、営業利益は、前年同四半期と比べ25百万円減少し3億22百万円(同7.4%減)、経常利益は4億10百万円(同2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億76百万円(同2.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、物価上昇圧力が継続するなか、人手不足やそれに伴う人件費上昇傾向など、当社のお客様を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。そのようななか、メディカル業種では、お客様の課題解決のサポートとして、現場の人手不足や食材単価高騰の影響から完全調理品(工場で調理工程を完了し、現場では温めるだけで提供可能な食品)への移管や調理形態(現場調理からセントラルキッチンへの移管)の変更などにより、受注拡大につながっております。また、惣菜業種では、引き続きホットデリカ・米飯部門において、家庭内調理機会の減少や節約志向による外食機会の減少を背景に、中食需要が堅調に推移したことから好調を維持しております。結果、売上高112億19百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)は5億3百万円(同5.8%増)となりました。

小売業部門におきましては、物価高騰の長期化から、消費者の生活防衛意識は依然として高く、購買行動における選別消費や低価格志向が一層強まるなど、足元の消費マインドは弱い動きとなっております。このような厳しい状況のなかで、公式LINEを活用したクーポン配信及び情報発信機能の強化などを進め、お客様の利便性向上及び来店販促に努めてまいりました。また、主要顧客である中小飲食店様に対して、店舗販売員が地産品を活用したコロッケの商品開発を提案し、商品化・販売を実現した結果、飲食店様の販促支援につながり、一般のお客様から好評をいただいております。しかしながら、物価上昇に伴う買い控えによる客数の減少、従業員の賃上げによる人件費や運賃上昇等によるコスト増加の影響もあり、結果、売上高15億48百万円(前年同四半期比0.2%減)、セグメント利益(営業利益)は47百万円(同37.9%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	1,984,299	100.5
弁当給食業種 (千円)	1,082,559	100.8
事業所給食業種 (千円)	912,529	98.0
メディカル給食業種 (千円)	1,679,108	109.4
学校給食業種 (千円)	1,204,015	106.2
外食業種 (千円)	1,898,863	102.3
惣菜業種 (千円)	2,066,394	105.1
その他 (千円)	392,019	142.1
計 (千円)	11,219,788	104.4
小売業部門 (千円)	1,548,142	99.8
合計 (千円)	12,767,931	103.8

(注) 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億28百万円減少し、366億83百万円となりました。これは主に、有価証券及び商品の減少によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ3億29百万円減少し、93億73百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億1百万円増加し、273億9百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払によるものであります。

結果、自己資本比率は74.4%(前連結会計年度末73.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,578,427	3,027,084
受取手形及び売掛金	5,233,867	5,169,612
有価証券	6,600,580	6,400,000
商品	3,016,911	2,732,859
その他	616,134	473,132
貸倒引当金	△9,580	△3,075
流動資産合計	18,036,339	17,799,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,944,634	2,902,447
土地	3,753,016	3,753,016
その他（純額）	637,736	621,717
有形固定資産合計	7,335,387	7,277,181
無形固定資産	150,975	141,304
投資その他の資産		
投資有価証券	9,761,901	9,791,019
その他	1,635,753	1,683,315
貸倒引当金	△9,203	△9,373
投資その他の資産合計	11,388,451	11,464,960
固定資産合計	18,874,814	18,883,446
資産合計	36,911,154	36,683,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,706,633	6,260,562
短期借入金	683,000	693,000
未払法人税等	276,500	195,600
賞与引当金	435,180	659,249
その他	1,160,159	1,118,944
流動負債合計	9,261,474	8,927,356
固定負債		
役員退職慰労引当金	223,463	228,303
退職給付に係る負債	68,643	68,960
資産除去債務	92,610	92,705
その他	56,984	56,555
固定負債合計	441,702	446,524
負債合計	9,703,176	9,373,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,744	1,441,744
利益剰余金	25,187,726	25,272,176
自己株式	△999,472	△999,472
株主資本合計	27,035,799	27,120,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,552	106,597
退職給付に係る調整累計額	84,626	82,333
その他の包括利益累計額合計	172,178	188,930
純資産合計	27,207,977	27,309,179
負債純資産合計	36,911,154	36,683,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	12,298,077	12,767,931
売上原価	9,623,312	10,030,869
売上総利益	2,674,764	2,737,061
販売費及び一般管理費	2,326,322	2,414,330
営業利益	348,442	322,731
営業外収益		
受取利息	42,162	50,392
受取配当金	7,132	8,282
持分法による投資利益	3,438	7,297
受取賃貸料	26,441	26,685
その他	8,065	9,206
営業外収益合計	87,239	101,864
営業外費用		
支払利息	1,065	1,786
賃貸収入原価	12,122	12,008
営業外費用合計	13,187	13,795
経常利益	422,495	410,799
特別損失		
固定資産除却損	2,763	861
特別損失合計	2,763	861
税金等調整前四半期純利益	419,731	409,937
法人税、住民税及び事業税	188,138	186,582
法人税等調整額	△53,015	△52,919
法人税等合計	135,122	133,663
四半期純利益	284,608	276,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,608	276,274

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	284,608	276,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,616	19,044
退職給付に係る調整額	△360	△2,292
その他の包括利益合計	9,256	16,752
四半期包括利益	293,865	293,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,865	293,026
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,746,621	1,551,456	12,298,077	—	12,298,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,746,621	1,551,456	12,298,077	—	12,298,077
セグメント利益	475,850	76,742	552,593	△204,150	348,442

(注) 1. セグメント利益の調整額△204,150千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	11,219,788	1,548,142	12,767,931	—	12,767,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,219,788	1,548,142	12,767,931	—	12,767,931
セグメント利益	503,275	47,635	550,911	△228,180	322,731

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	87,336千円	105,110千円